

# 行政（一般方式）専門問題

令和4年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

## 注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は10題あります。そのうち3題を選択して解答してください。
3. 解答時間は2時間です。
4. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された注意をよく読んでください。
5. この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。

## 次の出題分野10題のうちから3題選択のこと

1. 憲法 労働基本権及びその制限について説明せよ。
2. 行政法 行政行為の付款について、付款の限界及び付款が違法な場合の効力に言及して説明せよ。
3. 民法 錯誤による意思表示について、平成29年の民法改正における改正内容とその背景に言及して説明せよ。
4. 経済学 マンデル＝フレミング・モデルにより、固定相場制と変動相場制のそれぞれの場合における財政政策の有効性を、グラフを用いて説明せよ。なお、資本移動は完全に自由であるものとし、固定相場制の場合には不胎化政策はとらないものとする。
5. 財政学 課税の根拠である応益負担及び応能負担について、それぞれ説明せよ。
6. 政治学 リーダーシップの特性理論及び状況理論について述べた上で、「伝統的リーダーシップ」、「代表的リーダーシップ」、「投機的リーダーシップ」及び「創造的リーダーシップ」について、それぞれ説明せよ。
7. 行政学 日本の官僚制の特徴について説明せよ。
8. 社会学 ウォーラーステインの世界システム論について説明せよ。
9. 会計学 連結財務諸表に関する会計基準における三つの一般基準のうち、連結の範囲について説明せよ。
10. 経営学 ボストン・コンサルティング・グループ（BCG）が開発したプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）について、資源配分の考え方及び指摘されている問題点に言及して説明せよ。